

生駒市教育大綱改訂にあたっての社会教育のあり方に関する調査票

生駒市では、生駒市教育大綱を平成28年6月に策定後、本大綱に掲げられた基本理念及び基本方針に基づき、様々な取組を進めてきました。

本大綱は、令和2年5月を推進期間の満了を迎えることから、現在改訂に向けた作業を進めています。

つきましては、社会教育に関する課題や今後の方向性等について、社会教育団体等の皆様のご意見をいただきたいと存じますので、忌憚のないご意見をください。

生駒市教育大綱に掲げられている基本方針に沿った取組が、市においてなされていると思いますか。また、その理由についてもお答えください。

概ね取り組まれていると思う。

それぞれの分野における現在の課題は何ですか。

読書活動推進・・・本への興味を持つ人側だけでなく苦手意識を持っていたり図書館に向かう機会のない方の視点からの状況・意見の抽出を行いすり合わせることで改善の糸口に繋がるのではないかと

今後、それぞれの分野での市の施策の方向性や取り組むべき事業は何だと思えますか。

基本方針1, 2に対して 就学前教育からの非認知能力・感情教育の推進
基本方針3に対して 社会教育でまなび合った事を生かした地域貢献ができる場作り

地域とのつながりや「協創」を進めていくために、どのような考えのもと、取り組んでいくことが必要であると考えますか。

役所・市民それぞれが当事者意識を持ち未来を担う子どもたちに対して自分は何ができるかを考え行動に移す仕組みが必要。

生駒市教育大綱改訂にあたっての社会教育のあり方に関する調査票

生駒市では、生駒市教育大綱を平成28年6月に策定後、本大綱に掲げられた基本理念及び基本方針に基づき、様々な取組を進めてきました。

本大綱は、令和2年5月を推進期間の満了を迎えることから、現在改訂に向けた作業を進めています。

つきましては、社会教育に関する課題や今後の方向性等について、社会教育団体等の皆様のご意見をいただきたいと存じますので、忌憚のないご意見をください。

生駒市教育大綱に掲げられている基本方針に沿った取組が、市においてなされていると思いますか。また、その理由についてもお答えください。

教育大綱の文章が観念的で読み難く心に響かない。市民の皆さんに親しまれるよう血の通った表現を期待する。理念的な目的意識が強調されすぎてがんじがらめになって、余裕やゆとりが失われては元も子もない。

概ねなされていると思う。広報に掲載されているイベントの記事を市民の皆さんはよく読んでおられ、適時参加しておられるように見受けられる。個々の事案について実施状況と成果を具体的に検証願いたい。

それぞれの分野における現在の課題は何ですか。

生駒ふるさとミュージアムをより広く活用していただきたい。地理的要因もあるが、北地区では所在地をご存じない方もおられる。交通手段の整備も一考を要する。コミュニティバスの運行ルートなども検討していただきたい。また、利用しやすい公民館などへの「出前講座」なども必要でないか。生駒市指定文化財をもっと拡充していただきたい。候補案件はたくさんある。市民の皆さんの郷土意識の高揚にも寄与すると思う。

今後、それぞれの分野での市の施策の方向性や取り組むべき事業は何だと思えますか。

学校の先生方が生駒の歴史や文化をあまりご存じない。生駒をふるさととして生まれてきた子供たちに生駒の素晴らしい歴史や伝統文化をしっかりと教えられるよう、先生方が学べる機会を創成していただきたい。

小学生の課外授業にふるさとミュージアムをもっと活用していただきたい。史跡や文化財所在地への「案内表示」を整備していただきたい。

地域とのつながりや「協創」を進めていくために、どのような考えのもと、取り組んでいくことが必要であると考えますか。

自分たちが暮らす地域の歴史や文化を大切にしない社会には決して明るい未来はない。自治会には広報を配布するだけでなく、それぞれの地域の歴史や文化を学ぶ活動を期待したい。「いこまびと」意識を深める絶好の機会になる。有名人を招くのではなく、その土地の古老(普通のおじいちゃん、おばあちゃん)から昔の暮らしの体験談などを聞く機会も持てればよいと思う。

生駒市教育大綱改訂にあたっての社会教育のあり方に関する調査票

生駒市では、生駒市教育大綱を平成28年6月に策定後、本大綱に掲げられた基本理念及び基本方針に基づき、様々な取組を進めてきました。

本大綱は、令和2年5月を推進期間の満了を迎えることから、現在改訂に向けた作業を進めています。

つきましては、社会教育に関する課題や今後の方向性等について、社会教育団体等の皆様のご意見をいただきたいと存じますので、忌憚のないご意見をください。

生駒市教育大綱に掲げられている基本方針に沿った取組が、市においてなされていると思いますか。また、その理由についてもお答えください。

生駒市教育大綱の基本方針をスポーツ推進計画に反映し、様々な取組がなされている。また、教育大綱アクションプランに、スポーツ推進計画の重要施策を取り入れ、より実践的な取組となっている。

それぞれの分野における現在の課題は何ですか。

本市スポーツ推進の中心的な存在として、今後の活躍が期待されている総合型地域スポーツクラブであるが、クラブが安定運営をするために重要となる会員数が各クラブとも伸び悩んでいる。会員確保のため、クラブの存在意義や活動内容を地域住民に正しく理解いただくための周知啓発活動がより一層必要であり、また、会員が交流できるクラブハウスやクラブ事務所などの環境整備も必要と考える。また、市民の障がい者スポーツへの理解が充分でないと感られることから、引き続き周知啓発を行う必要がある。その他、障がい者がスポーツ活動を安全に行うことができる専用施設なども必要ではないかと感じている。

今後、それぞれの分野での市の施策の方向性や取り組むべき事業は何だと思えますか。

現大綱の基本方針を引き続き進めていくことが必要であると考えている。今回の大綱改訂についても、現大綱アクションプランに掲げている「総合型地域スポーツクラブの推進・支援」「障がい者スポーツ活動の推進」「トップアスリート連携事業」の3つの事業を継続的に取り組んでいく。

地域とのつながりや「協創」を進めていくために、どのような考えのもと、取り組んでいくことが必要であると考えますか。

総合型地域スポーツクラブの推進・支援をより進めていくことが「協創」と認識している。

また、障がい者スポーツ活動の推進を図る上では、自治会や学校など、地域とのつながりを更に意識して各施策を進めていくことが必要である。